

学生ら市民に「よいところ健診」

良い生活習慣評価

夢前

神戸大学の学生らが、姫路市夢前町に住む市民の健康をチェックし、その結果や生活習慣を褒めて評価する「よいところ健診」が、同町前之庄の前之庄公民館で開かれた。健診後には、近くの夢前高校の生徒が高齢者を抹茶と菓子でもてなし、交流を深めた。

を続けているのは素晴らしい「毎日農作業をするのは健康にもいいです」などと受診者の良い点を挙げた。

夢前高生は、健診終わりの高齢者と交流する茶会を開催。同校ボランティア部員や有志など13人が抹茶と菓子を提供し、学校生活や

よいところ健診は2018年に同市夢前町の住民向けに始まり、現在は年1回実施している。22日には、簡単な歩行テストや生活習慣に関するアンケートなどを基に、神戸大や甲南女子大などの学生が面談。「禁煙



発語のテストなどを受ける地域住民ら＝姫路市夢前町前之庄、前之庄公民館

地域の歴史について話に花を咲かせた。

初めて参加したという高本きみ代さん(80)は「若い子と話す機会がないのでパワーをもらえた」と笑顔。同校3年の田中智貴・同部長(18)は「地域の方から昔話を聞けるのは勉強になるし、楽しかったと言ってもらえるとうれしい」と充実した表情を見せた。

(橘高 声)